



# 虹のマーチ

2014.6  
第28号

川越地区消防組合



最新の救助工作車



タブレット端末の導入

## 安全・安心の実感のために



高度救命処置訓練



大規模災害対応訓練

右上・左上の写真については、次のページに記事を掲載しているのでご覧ください。

※他の調査項目の結果（概要）については、次のページに掲載しています。  
消防局総務課 Tel 222-0741

### 安全・安心の実感のため、住民の皆さんが考える —重要な施策 上位5項目—

- 1 高度な救急処置を行える救急隊員の育成 (35.6%)
- 2 地域の医療機関との連携強化 (30.8%)
- 3 消防・救急要請に対する現場到着時間の短縮 (25.7%)
- 4 大規模災害時における対応の想定を示す (24.0%)
- 5 地震などの大規模災害に対応できる特殊な資機材・車両の整備 (20.2%)

当消防局では、管轄する川越市と川島町にお住まいの方の、消防・救急・防災に関する意識や要望を把握し、地域の安全と安心をより一層充実させていくため、住民意識調査を実施しました。

この調査では、管内に在住する満20歳以上のの人から無作為に三千人を抽出、郵送により調査票を配布・回収し、千六百六人から回答（有効回収率53・5%）が寄せられました。

今回の調査結果による集計データや皆さんからいただいたご意見は、「安全・安心」をより一層実感できるまちづくりを推進していくための消防行政基本計画や重要施策の策定における貴重な資料として活用していきます。

本調査の実施にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



住民意識調査の結果をお知らせします



ここでは、結果の一部について掲載させていただきます。  
すべての調査項目に対する結果を取りまとめた報告書は、当消防組合ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



## ～住民意識調査結果～

【設問】川越地区消防組合の管内に住んでいて、消防・救急・防災の面で安全・安心を実感できるか。

・実感できる	16.8%	・ある程度実感できる	33.0%
・どちらともいえない	19.6%	・あまり実感できない	5.1%
・まったく実感できない	0.9%	・わからない・無回答	24.6%

【設問】あなたが普段の生活において、不安に思うことのある事故や災害は何か。

・地震による大規模災害	59.9%	・住宅火災	56.4%
・急病にかかる	43.6%	・大きなけがをする	26.2%
・新型インフルエンザなど	24.5%		

【設問】大地震などで大きな被害が発生したとき、隣近所の方々と助け合いや協力ができるか。

	児童・高齢者等の一時保護	食料・飲料水の助け合い	負傷者の救出・救護	火災の際の初期消火	病人や高齢者等の避難	隣近所の住人の安否確認
できる(多分できる)	68.5%	81.1%	52.7%	62.7%	72.4%	73.7%
できない(多分できない)	14.7%	8.1%	26.3%	20.3%	15.1%	15.3%
わからない無回答	16.8%	10.7%	20.9%	17.0%	12.6%	10.9%

【設問】119番通報で救急車を呼ぶとした場合、心配なことは何か。

・救急車が来るまでの処置を適切に行えるかどうか	60.0%
・病院を“たらい回し”にされないかどうか	55.4%
・救急車が早く来てくれるかどうか	29.6%
・病気やけがの状態を正確に伝えられるかどうか	27.6%
・希望する病院へ搬送してくれるかどうか	27.4%



救急車に  
タブレット端末を導入

当消防局は、埼玉県広域災害・救急医療情報システムへアクセスして、登録している地域医療機関の受入れ体制等を確認できるタブレット端末の運用を平成26年4月から開始しました。

タブレット端末は、救急隊員が現場で病院を選定する手段の一つとして使用するもので、傷病者を円滑に医療機関へ搬送できることを期待しています。  
※救急隊員がタブレット端末を利用した活動を行いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

消防局救急課 TEL 222-0160



高度救助資機材を  
装備した救助工作車

当消防局では、火災等の一般的な災害に対応する救助資機材のほか、複雑多様化する災害に対応できる高度救助資機材を装備した救助工作車を川越中央消防署に配備しています。

この車両は、効果的な人命検索活動ができる電磁波探査装置、二酸化炭素探査装置などを装備しています。

また、大規模災害などが発生した場合、県内だけでなく、県外へも緊急消防援助隊として出場し、救助活動にあたります。

消防局警防課 TEL 222-5891



# ～夏のレジャーに潜んだ危険～



## 花 火

花火に点火するときは、ろうそく等の点火用種火を使って花火から離れて点火するようにしましょう。

また、消火用の水バケツを必ず用意しましょう。



※花火は、誤った取り扱いをすると大変危険です。大人と一緒に正しく遊びましょう

消防局予防課 Tel222-0744

## バーベキュー

バーベキューには欠かせない着火剤。着火剤をつぎ足して使用すると炎が急に大きくなり、火傷する危険があります。

特に、ゼリー状の着火剤をつぎ足すと着火剤を伝って容器の中に炎が入り爆発する危険があります。



着火剤の特性をしっかりと認識し、安全にバーベキューを楽しみましょう！

消防局予防課 Tel222-0744

## 熱 中 症



熱中症は真夏だけでなく、身体が暑さに慣れない梅雨明けの時期にも起こります。

夏本番を前に、「こまめな水分の補給」「日中の外出は控える」「外に出る時は日傘や帽子をかぶる」「疲れる前に休憩する」など、今の時期から熱中症対策を忘れないようにしましょう。

消防局救急課 Tel222-0160

## 水 難 事 故

子供達だけで、海や川などの水辺に行くのは大変危険です！気象情報に気をつけるとともに、危険な場所には近寄らないようにし、必ず大人と一緒に遊びましょう。



また、ライフジャケットはボートや水上バイクに乗る時だけでなく、釣りや潮干狩りなどの時にも着用しましょう。

消防局警防課 Tel222-5891

消防局予防課 Tel222-0744



この制度は、ホテル・旅館等の関係者からの申請に基づき、消防機関が審査し、消防法令のほか、防火安全上重要な建築構造等の基準に適合する場合に「表示マーク」を交付する制度です。交付を受けた関係者は、平成26年8月1日から「表示マーク」を建物やホームページで掲出することができます。当消防局においても「表示マーク」を交付した管轄するホテル・旅館等の名称や所在地を防火安全に関する情報としてホームページに掲載します。※旅行などでホテル・旅館等を利用する際には、是非このマークを探してみてください。

### 【ホテル・旅館等の表示制度】

平成24年5月に発生した広島県福山市のホテル火災を受けて、火災被害の拡大防止対策の一環として、平成26年度から「ホテル・旅館等の表示制度」が始まりました。

平成26年度予算 5,928,733,000円

消防局総務課 TEL 222-0741

## 歳入

負担金（消防行政を運営するのに必要な負担金（組合を構成する川越市・川島町からの負担金））	4,521,531,000円（76.3%）
使用料及び手数料（消防関係検査等の手数料等）	4,070,000円（0.1%）
国庫支出金（国が地方自治体へ交付する補助金等）	84,838,000円（1.4%）
財産収入（基金運用の利子等）	319,000円（0.0%）
繰越金（前年度から持ち越されたお金のこと）	50,000,000円（0.8%）
諸収入（受託収入等の他の収入科目に含まれないもの）	25,075,000円（0.4%）
組合債（金融機関等からの借入金）	1,242,900,000円（21.0%）
<b>歳入合計</b>	<b>5,928,733,000円</b>

## 歳出

議会費（議員報酬等の議会運営費）	5,521,000円（0.1%）
総務費（組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費）	3,088,000円（0.1%）
消防費（消防・救急等に必要な経費及び消防施設の建設費等）	5,701,628,000円（96.2%）
公債費（借入金の元金、利子の返済のための経費）	213,996,000円（3.6%）
予備費（予見することのできない歳出予算の不足に備えて計上される費用）	4,500,000円（0.1%）
<b>歳出合計</b>	<b>5,928,733,000円</b>

※比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

情報公開制度の実施機関別決定件数(件)

実施機関	全部公開	部分公開	非公開	取り下げ	合計
議会	0	0	0	0	0
管理者	2	2	0	0	4
消防長	0	0	0	0	0
公平委員会	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0
合計	2	2	0	0	4

個人情報保護制度の実施機関別決定件数(件)

実施機関	全部開示	部分開示	非開示	取り下げ	合計
議会	0	0	0	0	0
管理者	0	5	0	0	5
消防長	0	0	0	0	0
公平委員会	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0
合計	0	5	0	0	5

※訂正などの請求は、ありませんでした。

消防局総務課 TEL 222-0741

左表のとおりです。

平成25年度の実施機関別の決定件数は、

制度」を実施しています。

を請求する権利を保障する「個人情報保護

ルールを定め、個人情報の開示・訂正など

が保有する個人情報の取り扱いについて

を請求する権利を保障する「個人情報保護

ルールを定め、個人情報の開示・訂正など

●個人情報保護制度の運用状況

左表のとおりです。

平成25年度の実施機関別の決定件数は、

左表のとおりです。

開する「情報公開制度」を実施しています。

出に対し、組合で保有している公文書を公

開された組合行政の推進のため、請求・申

●情報公開制度の運用状況

住民の皆さんの組合行政への参加促進と

開かれた組合行政の推進のため、請求・申

出に対し、組合で保有している公文書を公

### 平成25年度の個人情報保護制度と個人情報保護制度の運用状況報告

## 虹色通信

～119番の由来～

電話がまだダイヤル式だったころ、消防への通報は「112」でした。しかし、ダイヤルのかけ間違いが多いことから昭和2年に「119」に変更になりました。その経緯は、一番早くダイヤルできるのが「1」であり、早くダイヤルをするために「1」を二回続けたあと、落ち着いて最後の一つを回せるように時間のかかる番号として、「119」が割り当てられたそうです。

消防局指揮統制課 TEL226-7408



消防局救急課 TEL222-0160

※詳細につきましては、当消防組合ホームページをご覧ください。

※詳細につきましては、当消防組合ホームページをご覧ください。

※詳細につきましては、当消防組合ホームページをご覧ください。

※詳細につきましては、当消防組合ホームページをご覧ください。

※詳細につきましては、当消防組合ホームページをご覧ください。

※詳細につきましては、当消防組合ホームページをご覧ください。

日時 平成26年9月7日(日) 午前9時30分から3時

場所 当消防局3階講堂(川越市神明町)

内容 成人に対する胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸、AED使用方法など

救急医療週間に救命講習を受講してみませんか?

消防局総務課 TEL222-0741

・川越市新宿町二丁目

・川越市大字笠幡

・川越市大字鯉井

・川越市大字笠幡

・川越市大字笠幡

・川越市大字笠幡

・川越市大字笠幡

・川越市大字笠幡

・川越市大字笠幡

・川越市大字笠幡

ありがとうございます

救急活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。



消防だより

虹のマーチ

2014.6 第28号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0741

http://www.119kawagochiku.jp/